
新着メール・・・一件

肥後

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新着メール・・・一件

【Nコード】

N2445B

【作者名】

肥後

【あらすじ】

自分のアドレスでメールが届いた・・・

(前書き)

もし、自分のアドレスでメールがきたらどうつしますか？

ある寒い季節の夕暮れだった・・・

自分の友達の潤一は、一週間前に変なメールが来たのだった・・・

一週間前・・・

学校の休み時間、潤一の携帯に、

「新着メール一件」

なんだろうと潤一は、確認した。

「送り主は？つと・・・」

すると、そこには自分の名前が書いてあった。

「おいおい。マジかよ！」

内容を確認すると、タイマーがついており、そこには・・・

死亡時刻 150 時間 28 分 43・・・42・・・41 秒と、刻一刻と時

間が過ぎていった。

「なんだよ、このメール!？」

しかたないから、メールを消した。

すると、すぐにメールが来た。そこには・・・

死亡時刻 150 時間 27 分 15 秒と、書かれていた。

潤一は、携帯を地面に投げつけた。

しかし、時間は止まらない・・・

潤一は一週間気にせずになっていたが、

現在、時間を確認すると残り 10 分を切っていた。

あせる潤一・・・

今は、放課後でクラスに残っているのは、自分と、潤一、福田 悠太の 3 人だけだった。

刻一刻と時間が経過し、残り 1 分になった。

すると！蛍光灯の電気が急に消えたのだ。

「シ・・・ネ・・・」

と、言う声と同時に、

「ぶちや、ぐちや、ぐしよ」

と、奇妙な音がした。音がやんですぐに電気が付いた。
すると・・・

潤一は見るも無残な姿になっていた。

そして、潤一の携帯にまたメールが届いた。

そこには・・・

「シボウカクニン」

と、書かれていた。

マジかよ・・・放課後の教室は、静まり返ったのだった・・・
福田はその場から逃げ出した。

自分は、潤一を見つめることしかできなかつた・・・
すると、自分の携帯にメールが来た。

送り主は自分・・・！？俺も死ぬのか・・・

ある寒い季節の夕暮れだった・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2445b/>

新着メール・・・一件

2010年10月11日14時00分発行